



新年互礼会

新年あけましておめでとうございます。今年も近隣の先生方はじめ多くの方のご協力をいただき真摯に医療を行ってまいりたく存じます。改めましてご指導のほどお願い申し上げます。

さて、当院では新しい年をお祝いし、毎年診療開始日に行われる互礼会。今年は1月4日(水)10時半から職員約70名を集め、多目的ホールで行われました。

当院は昨年60周年を迎え、65周年を目前に二期工事を計画しています。二期工事の建設に際しては、時代の要請に応えるため多くの施設を視察し、最新の医療を提供できる病院を目指します。そのために職員一丸となって総力を結集して取り組んでいきたいと存じます。

また、今年は関連事業として就労移行支援事業所が立ち上がります。障がいをお持ちの方の生活と、就労をバックアップする施設として活動していきたいと考えております。同時に阪南病院では今年もお断りしない医療を徹底し、「精神科医療をもつて地域に貢献する」という創業以来の理念を大切に、医療を進めていきたいと考えます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。

質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定

F棟待合に、番号呼出機を設置しました。

初診窓口用に番号呼出機『順番くん』を設置いたしました。併せて初診の診察呼出や会計呼出の表示盤モニターも新しくなり、F棟待合がリニューアルされました。

これまでは、初診窓口にお越しの方に番号札を手渡ししてお待ちいただきましたが、待ち人数や順番が分かりにくく、少し長らくお待ちいただく場合には苦情を言われる方もおられました。そこで「あと何人が待っている」という順番が分かりやすい番号呼出機を設置しました。同時に札を渡す職員の手間を患者さんの対応に当てることできるようになり迅速な対応が出来るようになりました。

診察及び会計の呼出表示板はこれまで設置型のものでしたが、天井からのつりさげタイプのものに変え、受付前のスペースが広く、スムーズに移動動いていただくことが出来るようになりました。外来数が200名を超えてくると待合周辺はとて混雑します。少しでもサービスアップに努め、今後も待ち時間の削減、迅速な対応ができるよう努めてまいります。

尚、初診窓口では、初診受付、入院手続き、書類申込、自立支援の手続きなど受付しております。窓口にお越しの際は、ぜひ順番くんをご利用下さい。

(医事課)



順番くん



診療・会計表示盤

■外来診察表

外来診察時間/9:00~12:00(受付は11:30まで) 平成28年11月現在

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田		作田	横田	黒田	横田
2 診	花房	秋田	松島	橋元	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	白銀	茶谷	植田
4 診	上坂	柴田	濱田	戎	小林	松村
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
6 診	福田	土井	正路	永松	土井	宮里
7 診	山本	久保	小深田	橋本	作田	小深田
8 診	熊取谷	大矢	西村	河野	北	熊取谷
9 診		柏木	後藤	大浦	長谷川	安藤
診(心)			中井	山下		

*医師の急な都合により、変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします)



専門外来
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。
TEL.072-278-0381
FAX.072-281-6615

診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科/神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 111床(D2,E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」☎072-279-1631
- グループホームあんの郷
堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい
堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F
☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号
堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業書 エンワーク
堺市中区深井清水町3544-3
アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318



「障害者週間」フェスティバル

(プラザ祭り)

12月3日(土)、4日(日)の2日間にわたり、堺市立健康福祉プラザ(以下、プラザ)にて「障害者週間」フェスティバルが開催されました。このイベントは「障害者週間」に合わせて毎年行われ、プラザ内の相談機関や地域の支援機関より、旬の野菜やアクセサリーの販売、点字や手話の体験など様々な企画が催されました。

アプリコット堺(堺市発達障害者支援センター)は香り袋や皮製品を用いたアクセサリー、オリジナルのクリアファイル作りを企画し、小さなお子様からお年寄りまで沢山の皆さまにご参加いただき大盛況でした。中には、「去年も来ました」と声をかけてくださったお年寄りや、作業に熱中し、完成後はお母さんにプレゼントする子どもなど地域の方々の様々な姿を見ることができました。また、参加者には好みの香りやその時の気分に合わせて、好きなハーブティーを選んでもらい、プレゼントしました。障がいをお持ちの当事者の方やそのご家族などそれぞれにリラックスできる時間を持っていただければ嬉しく思います。

アプリコット堺ができてから3回目の参加となり、地域の皆様にも「アプリコット」という名前が少しずつ定着してきたように実感します。堺市では各区で定期的にそれぞれ特色のあるイベントが開催されています。今後もアプリコット堺では、こうした地域活動に積極的に参加していきたいと考えています。

(アプリコット堺 中條 淳博)

デイケア就労準備グループが、表彰されました!

平成28年12月3日、堺市健康福祉プラザで、第15回堺市精神保健福祉セミナーが、開催されました。セミナーのポスターに、デイケアの就労準備グループ「みらいふ」で作成した作品が選ばれており、会場を華やかに彩りました。メンバーみんなで、「希望」をイメージし、今年の干支である「鳥」をテーマとした作品です。新年より、院内売店のイトインコーナーに展示しています。

セミナー開催に先立ち、11月21日に、関係機関である堺市から職員が訪問され、表彰式が、デイケアホールにて行われました。思いがけぬ展開に驚きながらも、晴れ晴れとした表情で、賞状を頂くメンバーの姿が、まぶしい式となりました。みらいふ以外のメンバーからも、式を見守り、笑顔と共に、温かい拍手を送っていました。

就労準備グループ「みらいふ」は、昨年より開始した、デイケアの新しい取り組みです。作業療法士、精神保健福祉士、看護師の3職種により、作業体験やグループワーク、SST、WRAP(元気回復行動プラン)など、多彩なプログラムを実施し、個別や集団の取り組みの中から、自身の課題を見出し、セルフコントロールの力を高める事を意識しています。従来のデイケア活動から、より一歩前に進む為に、「就労への準備性を高める」という同じ目標を持った固定メンバーのグループ活動の所属によって、孤立を防いだり、視野を広げ、自身のストレングスに気付いて、「希望」を実感できるように支援しています。過去に利用されたメンバーは、一般就労、アルバイト、作業所などに進まれています。今後はステップアップしたメンバーらの体験談など、ピアの力も取り入れていく予定です。

定員12名とし、月、水、金の半日、従来のデイケアの隣のOTセンターで、行っています。見学も随時、受け付けていますので、デイケアセンターにお問い合わせください。(デイケア)



当院は敷地内完全禁煙です

ふくだメンタルクリニック

少子高齢化や働き方の多様化、地域や家庭の機能低下などによりストレスを抱えることが多くなり、こころの健康を保つことが以前と比べて難しくなってきました。その中で、「眠れない」「気持ちが落ち込む」「不安が続く」「疲れやすくなった」など、こころやからだに不調を感じ、悩んでいる方も多いと思います。

当院は、そのような方に対して寄り添ってサポートし、こころに「やすらぎ」を取り戻すための、癒しの空間でありたいと願っています。こころはデリケートなものです。不調を感じたとき、どうぞお気軽にご相談ください。皆様から信頼されるクリニックを目指して、スタッフ共々頑張っています。

また当院では皆様の待ち時間をできるだけ少なくするため、ご予約の方を優先しています。特に初診の方はお話を聴きする時間を要しますので、時間に余裕をもってご予約をお願いいたします。

- 住所 〒599-8273 堺市中区深井清水町3985 HS深井ビル6F
- 電話 072-246-9960
- HP <http://www.fukuda-mc.com/>
- 診療科 心療内科 精神科 もの忘れサポート
- 最寄駅 南海 泉北高速鉄道 深井駅

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~13:00	○	○	○	—	○	○	—	—
午後 16:00~18:30	○	○	○	—	○	—	—	—
午後 18:30~19:30	—	○	—	—	○	—	—	—

※土曜診療は9:30~13:30まで

Dr.情報 院長 福田 真也 先生

☆経歴:関西医科大学 医学部卒業

生長会 府中病院 急病救急・総合診療センターにて内科救急全般、地域医療、老年期医療に従事

杏和会 阪南病院 メンタルヘルス全般をはじめとして認知症や精神科救急など精神科医療全般に従事

平成27年12月 ふくだメンタルクリニック 開院

☆所属学会:日本精神神経学会・日本内科学会 正会員

☆資格:精神保健指定医・日本医師会認定産業医

就労移行支援事業所エンワーク

杏和会に新しい事業所が誕生いたします。就労支援事業所「エンワーク」です。深井駅から徒歩8分のところに場所を借り運営を始めます。

就労移行支援事業とは障害者総合支援法に定められた障がいのある方の就職をサポートするための通所施設です。就職を希望する18歳以上65歳未満の身体および知的障害や精神疾患、難病のある方が利用できます。精神障害では、統合失調症、うつ病、双極性障害、躁うつ病、気分障害などの方や発達障害ではアスペルガー症候群、自閉症、ADHD(注意欠如・多動性障害)などの障がいでも就職が困難な方がご利用になれます。

1月1日付けで認可をいただき、1月27日に開所いたしました。障がいのある方にとって「仕事」は大きな希望となり、生活の糧となります。障がい者雇用の推進は政府の課題としても取り上げられていますが、障がいには仕事に就くための様々な条件を乗り越えていく課題があります。障がいをお持ちの方がうまく

仕事につながっていくよう、事業所には、精神保健福祉士を中心とした専門職や社会経験の豊富な生活支援員、就職支援員といったスタッフが常駐します。

サービス内容は、働くための身体づくり、生活環境の調整といった基本的なことから、仕事に関する知識やスキルアップ、就職活動のサポート、そして就職後も長く働き続けられるよう職場への定着支援などを行ってまいります。



「災害時、どのように行動 したらいいのか?(実戦編)」

若井 聡智先生
(大阪医療センター 救命救急センター 医長)

大阪医療センター救命救急センター医長若井聡智先生にご講演いただきました。ご縁があって昨年の当院災害対応訓練でも様々ご助言いただきました。そして今回2回目の講演会を開催することができました。

昨年は災害医療の概要といったお話だったのに比べ今年はさらに実戦的な内容で、昨年の熊本地震の際のDMATの活動やその組

織体系、また大阪医療センターでの発災時の動きやマニュアルについてお話しくださいました。

熊本地震など大規模災害時にはDMATがいち早く駆け付けますが、まずは災害拠点病院を活動拠点とし、地域の一般病院からのEMIS(広域災害医療情報システム)登録から得られる被災状況を確認した上で、支援先が分担されます。大阪にはORION(大阪府救急・災害医療情報システム)がありますが、これもEMISと連動しているので、それらにアクセスし、状況を入力すること、それはより詳しく、被災の状況と合わせ、機能の状況(経験豊富な医師や医療スタッフがいるのかなど)も入力することで必要な支援を迅速に行うことができることでした。

また大阪医療センターでは全てのスタッフが一次トリアージとクロノロ記載(クロノロジー[chronology])のことであり、災害時にはホワイトボードなどに、出来事を時系列で記載)ができるよう、繰り返し研修会を行っているとのことでした。

今回の研修を当院でも災害対策に活かしていきたいと考えます。

日本精神科病院協会通信教育 SENIORコース スクーリング

12月7日(水)日本精神科病院協会が主催する通信教育SENIORコースのスクーリングを当院にて行いました。認知症に特化した研修ということで、今年当院へご依頼いただきました。このコースはリーダークラスの看護師さんを対象とし、レポート提出とスクーリング(病院実習)にて単位を納めます。修了者は認知症治療病棟入院料2算定での「専門機関等が主催する認知症指導に関する所定の研修を修了した者」、精神療養病棟入院料の算定での、「専門機関等が主催する作業療法に関する所定の研修を修了した者」とされ算定の対象となります。

当日は日精協職員2名を含め47名(当日2名の欠席)が来院され、9時半から16時までの研修会が行われました。プログラムは主に、講義と実習(見学)で進められ、認知症疾患センター長土井副院長の「認知症患者の社会的背景と精神科病院の役割」という講義から認知症病棟における看護、OT、CP、PSWの取組み、そして認知症疾患センターの取組みなど各専門職が講義を担当しました。

また、当院の特色の一つでもある「児童精神科の取組みについても」講義をさせていただきました。実習は認知症病棟を中心に、救急病棟、児童病棟など見学も合わせて回りました。質疑応答でも認知症治療における課題や悩みなどお話しになる方もいて、充実したものになりました。



第32回 児童精神科領域研究会 「子どもの育ちを支援する」

12月20日(火) 於:サンスクエア堺

12月20日(火)西田寿美先生にお越しいただき第32回 児童精神科領域研究会を開催いたしました。先生は今年3月まで三重県小児心療センターあすなろ学園の園長を務められ、2004年から6年間、当院も毎年参加、発表させていただいている全国児童青年精神科医療施設協議会(全児協)代表も務められた著名な児童精神科医です。

小柄で上品な第一印象の先生でしたが、演台に立つと、とてもエネルギーで、未だ子どもの療育に関わっておられる現状をお話しになりました。現在は非常勤で勤務されているあすなろ学園の紹介から、子どもの成長の段階、そしてかかわる親や周囲の影響の大きさなど事例を通して細かくお話しになりました。

講演を通して先生がお話しになった「出会いと伝えあいによって子どもは育つ」「子どもは自分のために時間を使ってくれる大人を必要としている」「子育て支援は親と子両方を支援していく事」「ひとりで見ない、あきらめない」という言葉が印象的で、当日行ったアンケートでは、これまでにないほどのご意見を返していただきました。長らく子どもに関わってこられた先生の経験に裏打ちされた言葉だけに重みがあり、それでいて、42年やってきてやっとここまでと謙遜される先生のあたたかなお人柄に、会場におられた方は皆さん、惹きつけられたのではないのでしょうか。

質問に対しても気さくにお話になる反面、時に「10年なんてあっという間、あきらめず、あきらめずにかかわり続けてください」などきっぱりと話されることもあり、瞬間の態度や表情で安心感を与えていく大きさ、強さを感じることができました。今後も研究会は継続いたします。

(児童精神科領域研究会事務局)



NPO法人ライフ・ステージ・サポート
みえ理事長
西田 寿美 先生

大阪精神科病院協会ピアレビュー 相互訪問

ピアレビューは大精協が実施する病院間の相互訪問を通し、お互いをチェックするための仕組みです。3年に1回の受入れと、毎年の訪問で構成されています。今年、当院は11月21日(月)に関西記念病院様へ訪問し、12月15日(木)には関西記念病院様、藍野花園病院様、阪奈サナトリウム様、箕面神経サナトリウム様の4施設から計18名の受入れを行いました。

14時の開会後、相互に自己紹介をし、黒田院長から病院概要の説明がなされ、その後、2班に分かれて見学いただきました。見学アテンドは院長、副院長をリーダーに8名で2班編成とし約1時間でスーパー救急病棟、児童精神科病棟、リハビリテーションセンター、外来、検査フロア、体育館、屋上庭園、グリーンガーデン、図書館を回るという超タイトなスケジュールで、最後は小走りでご院内を見学いただきました。15時半を少し超えて、会場に戻り、ハーブクッキーとハーブティを召し上がっていただきながら質疑応答。看護体制や救急対応などご質問いただき、情報交換の機会をもつことができました。

